

株主メモ Shareholder Information

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
各種お問い合わせ先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

お知らせ

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>

当社ホームページに最新トピックスのほか、IR情報を随時発信し、ご提供しております。



用紙

国産の竹を原料とした紙「竹紙 100 ナチュラル 100g/㎡」を使用しております。



表紙

鹿児島市街地と桜島 (写真提供:公益社団法人 鹿児島県観光連盟)



株主の皆様へ

「ひと・もの・心」を大切に



中越パルプ工業株式会社

東京本社 東京都中央区銀座2-10-6 Tel 03-3544-1524
高岡本社 富山県高岡市米島282 Tel 0766-26-2401



経営理念 Management Concept

私達中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、永続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

三、向上心あふれる働き甲斐のある会社に

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくりまします。

Contents

● 経営理念	1	● セグメントの概要	7
● トップメッセージ	2	● 連結決算概要	8
● トピックス		● 会社概要	9
SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けた取り組み	5	● 株式の概況	10

トップメッセージ

株主の皆様へ

持続的成長を可能とする 企業グループの構築を 目指して

代表取締役社長 かとうあきよし 加藤 明 美

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第103期第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の事業概要につきましてご報告いたします。



事業結果の概況

紙パルプ事業におきましては、主力の印刷情報紙や新聞用紙分野の需要がますます減少するなか、紙からパルプへの転換を進めたこともあり、洋紙の数量・金額とともに前年を下回りました。

一方、好調な海外パルプ市況に支えられ、製品パルプは増産・増販に注力したことで国内、輸出ともに大きく数量を伸ばしたものの、原燃料価格の高騰により、前年に比べ減益となりました。

木質バイオマス燃料発電設備を中心とする発電事業につきましては、木質燃料の安定供給の確保や安定操業の維持に努めたことで、前年を上回る売り上げとなりました。

以上の結果、連結売上高は45,503百万円(対前年同期比1.3%減)となりました。

連結営業利益は△878百万円(対前年同期比756百万円減)、連結経常利益は△612百万円(同380百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は△492百万円(同417百万円減)となりました。

中期3ヶ年計画「フォワード304」の取り組み

2017年度を最終年度とした中長期成長戦略プラン「ネクストステージ50」では、エネルギー事業への参入やセルロース・ナノファイバーの第一期商業プラントの稼働、王子ホールディングス株式会社との共同事業提携など一定の成果を挙げることができました。

当社は、「ネクストステージ50」で培った経営資源を最大限活用し、いかなる情勢の変化にも対応し、リスクを吸収できるしなやかな企業グループの基盤を構築するため、中期3ヶ年計画「フォワード304」に取り組んでいます。

本計画では2020年度末に、営業利益30億円、ROE(株主資本利益率)4%の収益基盤の確立を目指し、従来の取り組みに加え、新たに4つの戦略を進めてまいります。

1. グループ事業領域の再構築

販売ラインナップの拡充によるパルプ事業の拡充、不採算事業の再編、生産基盤の強化によるさらなるコストダウン

など、紙パルプ事業の収益改善に向けた取り組みを行ってまいります。

2. ナノフォレスト事業展開

セルロース・ナノファイバー(以下CNF)は「ナノフォレスト」ブランドで既に商品化された音響機器や卓球ラケットを始め、自動車や歯科分野などへの用途拡大のため各メーカーと研究開発を進めています。



株式会社ダーカー製「アルパ23」
写真提供:株式会社ダーカー

川内工場の第一期商業プラントに続き、高機能CNFパイロットプラントの建設や、CNF樹脂展開強化設備の増強を図るとともに、医療分野、農業分野など新規事業分野への展開も進めてまいります。

3. 不動産の有効活用

保有する資産を、より収益性の高い事業へ展開することで資産の有効活用と効率的な運用のあり方について検討を進めてまいります。

4. 合併事業への積極的参画

近年、世界的に使い捨てプラスチックが問題となり、国を挙げての対策が急速に進んで来ております。

そうした中、当社はわが国においても、プラスチックの大口ユーザーや消費者のポストプラスチックへの期待が高まって行くと考えております。

既に、生分解性プラスチックの開発は進んでいるとは言われるものの、未だまだ品質の確立やコストの面でも競争力がある水準には達していないのが現状です。

今般、当社は、株式会社環境経営総合研究所とともに世界で唯一の素材「MAPKA®」(マップカ)を製造する合併会社「中越エコプロダクツ株式会社」を設立いたしました。

マップカとは、紙を独自の技術によりパウダー状に加工し、合成樹脂と混練させた新しい素材です。紙が55%入っていないながらプラスチックと同様の加工が可能であればかりで

なく、石油由来のプラスチック使用を大幅に削減、CO2排出量の削減にも寄与する環境性能の高い製品です。

当社高岡本社工場内に工場を建設し、来年度には事業の立ち上げを見込んでいます。

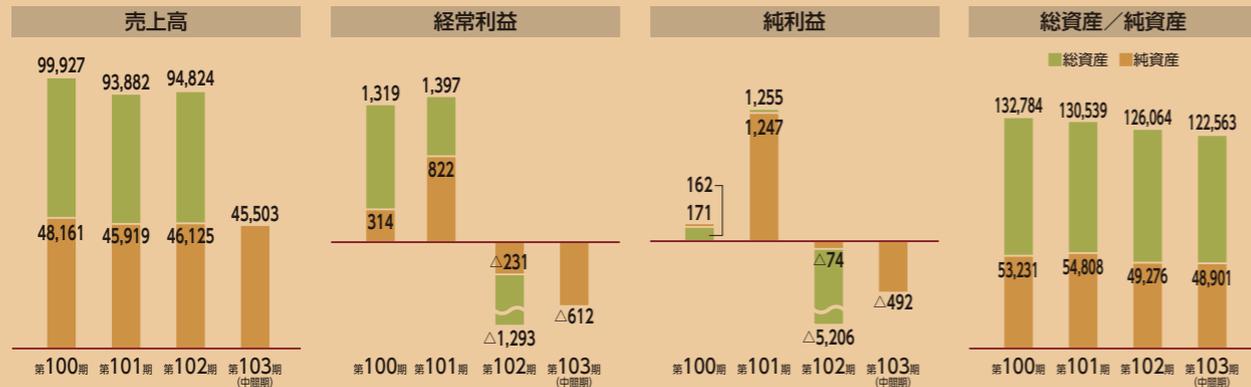


中越エコプロダクツ株式会社を設立

「MAPKA」は株式会社環境経営総合研究所の登録商標です。

● 連結業績推移

■ 通期 ■ 中間期 (単位:百万円)



Consolidated Financial Highlights

● フォワード304 事業戦略ロードマップ

Business Strategy

	2018年度	2019年度	2020年度
パルプ事業拡大	ラインナップ拡充に向けて設備設置 稼働		
ナノフォレスト事業展開	高機能CNFパイロットプラント建設計画化	パイロットプラント建設・稼働(疎水性CNF)	
		CNF樹脂展開強化・設備増強	
合併事業への参画	合併会社設立	食品トレイ事業 設備設置 稼働	断熱シート事業 検討
不動産の有効活用	検討	実行	

SDGs (持続可能な開発目標) の実現に向けた取り組み

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための国際社会のルールです。
 貧困の撲滅を不可欠とし、経済成長を促す一方で、地球環境の保護に取り組むために私たちが果たすべき17の目標を掲げています。



推進目標 持続可能な森林資源の活用

間伐材や未利用材、適正に管理された木材を使用することで森林資源の持続的活用に努めています。
 森林資源の持続可能な活用は、豊かな森林資源の育成、生物多様性の保全やCO₂吸収機能向上による地球温暖化防止、「緑のダム」機能の育成といった公益的機能の向上に寄与します。



SDGs



推進目標 再生可能エネルギーの利用促進

木質バイオマス燃料や太陽光など再生可能なクリーンエネルギーを積極的に利用しています。
 化石燃料の削減、CO₂排出量削減や未利用材、証明書付間伐材の活用で地球温暖化防止や地域経済の活性化に貢献します。



SDGs



推進目標 次世代イノベーションの創出

新素材マプカ事業とセルロース・ナノファイバー事業を展開し、様々な分野で革新的イノベーションに挑戦しています。
 植物に由来する高機能な新素材セルロース・ナノファイバーの実用化や、紙とプラスチックを混練した新素材マプカの事業を展開し、新しい技術革新の基礎創りや事業拡大による雇用の創出に努めます。
 またマプカ事業を通じたプラスチックと環境問題への取り組みや廃棄物燃料の積極利用、リサイクルの促進や生産活動におけるゼロエミッション、有害化学物資の使用削減など環境に配慮した事業活動を推進しています。



写真提供：株式会社環境経営総合研究所



SDGs



推進目標 ワーク・ライフ・バランス 働き方改革

向上心あふれる働きがいのある会社を経営理念に掲げ、人権や多様性を認め、それぞれの個性が最大限発揮出来るよう努めています。
 健康宣言のもと、社員と家族の健康増進活動を積極的に実施しています。その取り組みが評価され、DBJ健康経営格付の最高ランク取得や健康経営優良法人～ホワイト500～に認定されました。
 女性活用の促進や障がい者の雇用の促進など多様性の確保やワーク・ライフ・バランスの実現に向けて育児休業制度をはじめとする社内制度の充実により、より働きやすく、働きがいのある企業風土創りに努めています。

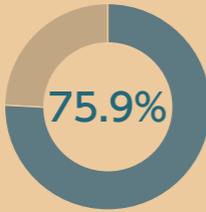


SDGs





紙・パルプ製造事業



連結売上高 **39,872**百万円 (前年同期比 1.6%減)

連結営業損失 **1,608**百万円 (前年同期は1,091百万円の連結営業損失)

印刷情報紙や新聞用紙は、需要減少により減収となりましたが、パルプは価格の上昇と販売強化により大幅な増収となりました。包装用紙分野では、国内需要に応えるため輸出を縮小し、国内販売は前年並みの数量を確保しました。一方収益面ではチップや薬品などの原燃料価格の高騰の影響により大幅な減益となりました。



発電事業



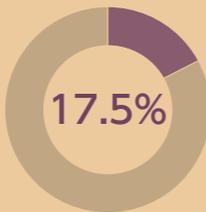
連結売上高 **3,479**百万円 (前年同期比 11.6%増)

連結営業利益 **713**百万円 (前年同期比 0.6%増)

前年同期は、生産本部二塚製造部における送受電設備が故障により停止しておりましたが、当第2四半期は、安定操業により順調に稼働したことで増収となりました。



その他の事業

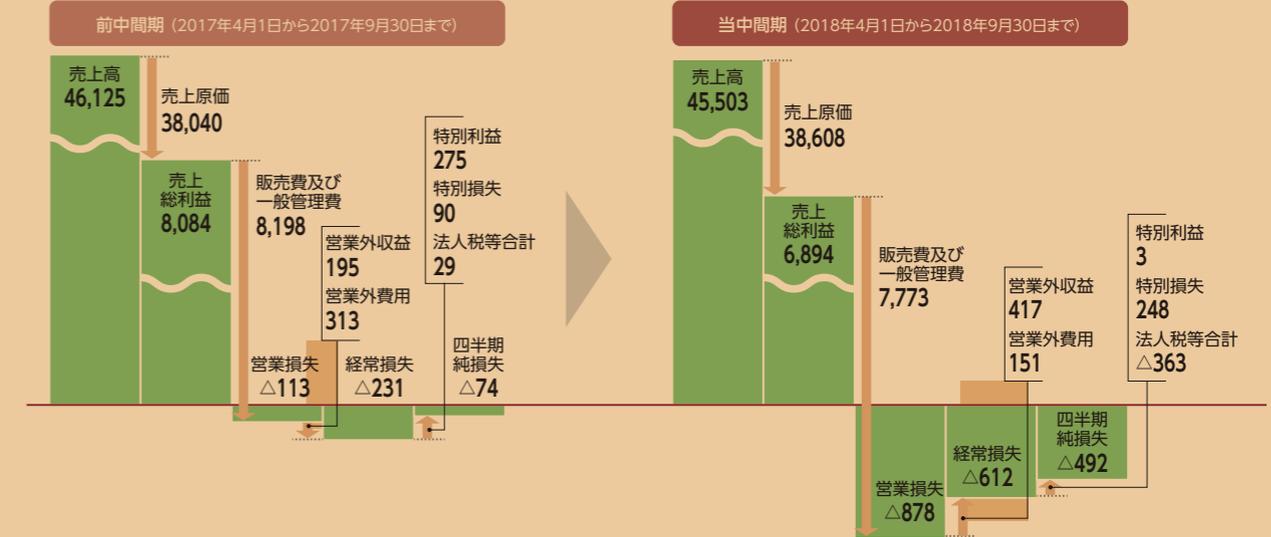


連結売上高 **9,224**百万円 (前年同期比 9.4%減)

連結営業損失 **35**百万円 (前年同期は232百万円の連結営業利益)

紙断裁選別包装・運送事業等の紙・パルプ製造事業を補助する「その他の事業」につきましては、当社工場の定期点検停止時の設備更新工事が前年と比較し長期間となったことによる生産減、および7月に発生した西日本豪雨の影響で物流網が混乱したこと等により、減収減益となりました。

● 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



● 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

項目	前期末 (2018年3月31日現在)	当中間期末 (2018年9月30日現在)	前期末 (2018年3月31日現在)	当中間期末 (2018年9月30日現在)
資産合計	126,064	122,563	負債純資産合計	126,064
流動資産	45,113	42,512	負債	73,661
固定資産	80,950	80,051	純資産	48,901

● 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)

科目	前中間期 (2017年4月1日から2017年9月30日まで)	当中間期 (2018年4月1日から2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,748	2,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,741	△1,354
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,827	△1,353
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,820	△211
現金及び現金同等物の期首残高	6,365	4,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,545	4,545

会社概要 (2018年9月30日現在)

商号 中越パルプ工業株式会社
 本店所在地 東京都中央区銀座二丁目10番6号
 創業 1947年2月
 資本金 18,864百万円
 グループ従業員 1,434名
 主要な事業内容 ◎パルプ・印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・
 特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、
 竹紙等の製造ならびに販売、発電事業

役員 (2018年9月30日現在)

取締役(監査等委員である取締役を除く。)
 代表取締役社長 加藤 明美 取締役 三浦 新
 専務取締役 植松 久 取締役 地蔵 繁樹
 常務取締役 大島 忠司
※各取締役(監査等委員である取締役を除く。)は、執行役員を兼務。
 監査等委員である取締役
 取締役 常任監査等委員(常勤) 小林 敬
 社外取締役 監査等委員 杉島 光一
 社外取締役 監査等委員 山口 敏彦

グループ拠点 (2018年9月30日現在)

事業所

- ① 東京本社
- ② 高岡本社
- ③ 大阪営業支社
- ④ 名古屋営業所
- ⑤ 福岡営業所
- ⑥ 北陸営業所
- ⑦ 川内工場
- ⑧ 高岡工場
- ⑨ 生産本部 二塚製造部

紙・パルプ製造事業

- ⑩ 三善製紙株式会社

その他の事業

- ⑪ 株式会社文運堂
- ⑫ 中越緑化株式会社
- ⑬ 中越物産株式会社
- ⑭ 中越ロジスティクス株式会社
- ⑮ 中越テクノ株式会社
- ⑯ 共友商事株式会社
- ⑰ 中越エコプロダクツ株式会社

持分法適用関連会社

- ⑱ 中越パッケージ株式会社
- ⑲ 中部紙工株式会社
- ⑳ 王子製袋株式会社
- ㉑ 上海東王子包装有限公司
- ㉒ 王子包装(上海)有限公司
- ㉓ 王子製袋(青島)有限公司
- ㉔ Japan Paper Technology (Viet Nam) Co., Ltd.
- ㉕ Japan Paper Technology Dong Nai (VN) Co., Ltd.

その他関係会社

- ㉖ O&Cアイポリーボード株式会社 徳島工場
- ㉗ O&Cファイバートレーディング株式会社
- ㉘ O&Cペーパーバッグホールディングス株式会社



株式の状況 (2018年9月30日現在)

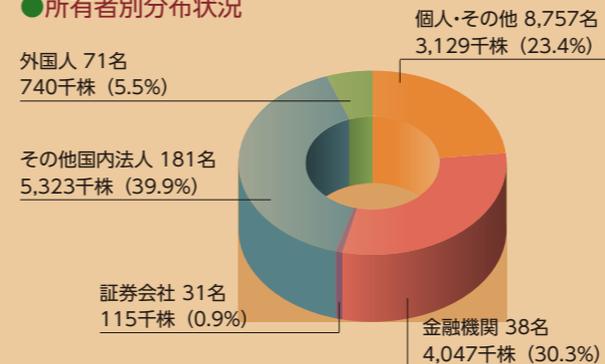
発行可能株式総数 45,000,000株
 発行済株式の総数 13,354,688株
 株主数 9,078名

●大株主の構成

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
王子ホールディングス株式会社	2,753	20.62
日本紙パルプ商事株式会社	710	5.32
株式会社北陸銀行	573	4.29
新生紙パルプ商事株式会社	564	4.23
国際紙パルプ商事株式会社	534	4.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	517	3.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	414	3.10
株式会社みずほ銀行	401	3.00
農林中央金庫	401	3.00
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	269	2.01

(注)千株未満は切り捨てて表示しております。

●所有者別分布状況



第102期定時株主総会における 議決権行使の集計結果に関するお知らせ

1. 議決権の状況

議決権を有する株主数 7,630名
 議決権の数 133,126個

2. 議決権行使状況

	株主総会前日 までの議決権行使 (事前行使)	株主総会 当日出席による 議決権行使	議決権行使 合計
株主数	2,519名	116名	2,635名
議決権行使個数	82,761個	30,235個	112,996個
行使率	62.2%	22.7%	84.9%

3. 議決権行使結果

	賛成数	反対数	棄権数	賛成比率
第1号議案 剰余金の処分の件	110,108個	263個	0個	97.44%
第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)5名選任の件				
①加藤 明美	94,273個	16,111個	0個	83.43%
②植松 久	97,868個	12,516個	0個	86.61%
③大島 忠司	109,483個	901個	0個	96.89%
④三浦 新	109,494個	890個	0個	96.90%
⑤地蔵 繁樹	109,495個	889個	0個	96.90%
第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件				
①小林 敬	109,328個	1,045個	0個	96.75%
②杉島 光一	109,543個	830個	0個	96.94%
③山口 敏彦	109,566個	807個	0個	96.96%

賛成数は、「事前行使における賛成数」と「当日出席株主から各議案の賛否に関して確認できた賛成数」を合計したものです。